

DMG MORI

第**78**期 中間

株主通信

2025年1月1日 ▶ 2025年6月30日

M

証券コード: 6141

DMG森精機株式会社

DMG MORIは技術革新によって、
持続可能な社会を実現していきます

私たちDMG MORIは、1948年の創業以来、工作機械の精度向上とお客様の生産性向上への挑戦を続けてきました。

工作機械は、高精度、高速、高剛性、高耐久性を追求し、加工プロセスを集約することによって、経営資源、エネルギー消費、CO₂排出量の削減に貢献できる製品です。

デジタル・トランスフォーメーション(DX)を用いて工程集約・自動化、グリーン・トランスフォーメーション(GX)を促進するというマシニング・トランスフォーメーション(MX)の普及を通じて、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに第78期中間期(2025年1月1日から2025年6月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

Q 2025年12月期中間期の業績は？

当中間連結会計期間における業績は、売上収益2,275億円(1,403百万EUR)、営業利益65億円(40百万EUR)、税引前中間利益33億円(20百万EUR)、親会社の所有者に帰属する中間利益21億円(13百万EUR)となりました。

中間期の連結受注額は2,486億円となり、前年度下半期(2024年7～12月)に比べ8.4%増となりました。四半期ベースでは4～6月の連結受注額は1,279億円となり、

前四半期比(2025年1～3月)6.0%増と2024年下半期を底に回復基調にあります。工程集約機、自動化をはじめとする価値提案力がお客様に浸透し、機械1台当たりの受注単価が、2024年度平均の71.0百万円(43.3万EUR)から80.8百万円(49.8万EUR)へと引き続き伸長しています。また、連結受注の24%を占めるサービス・補修部品の受注額も安定的に推移しています。

地域別受注額は米州が好調で、アジア・インド、日本は堅調に推移しました。欧州、中国も既に底を脱し、下半期にかけて回復していくものと期待しています。産業別には、航空・

宇宙・防衛、医療、データ・ハンドリング、電力、エネルギー関連向けに需要が伸長しています。

※ユーロ建表示は2025年1月～6月の期中平均レート162.2円で換算しております。

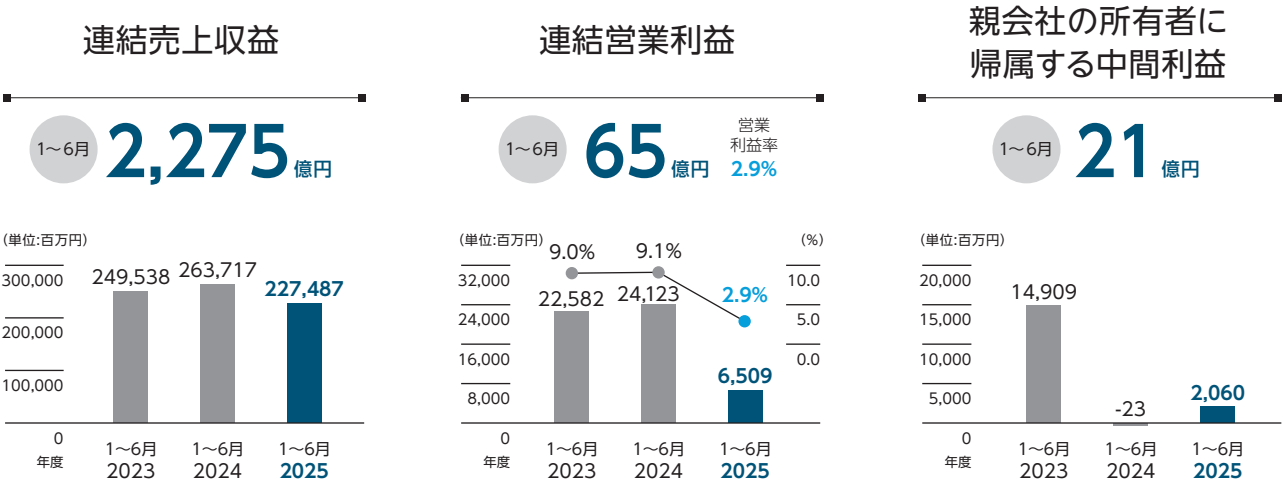
Q 2025年12月期中間期の
技術と成果は？

最先端の技術とお客様の生産性向上に貢献できるソリューションを提供するため、世界最大級の自動化システムソリューション工場として奈良事業所を開所し、第二本社である奈良商品開発センタに当社最新のAdditive Manufacturing(AM)機を設置した「AMイノベーションセンタ」を新設いたしました。さらに、「DMG森精機伊賀株式会社」「DMG森精機

奈良株式会社」「DMG森精機Additive株式会社」を設立し、国内の機構改革を実施いたします。

販売面では、世界4大工作機械展示会の一つであるCIMT(中国国際工作機械展覧会)の出展や「シカゴ・イノベーション・デイズ2025」の開催により、お客様に最新の技術や自動化ソリューションをご提案いたしました。さらに、カスタマーポータルサイトmy DMG MORIの新機能として、オンラインショップ[my DMG MORI eMarket]の本格稼働を開始いたしました。切削工具や素材などの消耗品やスペアパーツの購入だけでなく、工具や加工プログラムに関する課題を当社エンジニアにご相談いただけます。

サステナビリティの面では、2025年2月に国際環境非営利団体CDPによる調査[CDP2024]において気候変動



※2024年度第1四半期に、ロシアの製造子会社の連結除外損失91.8百万EUR(EUR/JPY=164.0換算で151億円)を計上しています。
※2024年度第1四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社(旧倉敷機械株式会社)を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

■ トップインタビュー

分野での情報開示と取り組み成果が高く評価され、最高評価である「Aリスト企業」に初めて認定されました。水セキュリティ分野においても昨年に引き続き「A-」の評価を獲得しました。グループ最大の生産拠点である伊賀事業所では、2025年2月より国内最大級の自家消費型太陽光発電システムで全量の発電を開始したことにより、伊賀事業所の年間電力需要を約30％賄い、年間約6,000トンのCO₂排出量を削減します。

人的資本経営の面では、健康経営に優れた上場企業として「健康経営銘柄2025」に2年連続で選定され、特に優良な健康経営を実践している法人として「健康経営優良法人2025」の大規模法人部門「ホワイト500」にも3年連続で認定されました。当社は12時間勤務間インターバルの義務化や健康管理増進センターの設立、「DMG森精機 健康

経営宣言」の発表、Webinar研修、運動・栄養教室の開催などを継続して実施しております。

※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

Q 2025年12月期通期の見通しは？

2025年度の連結受注高は期初計画通り前年度比6.9%増の5,300億円を見込んでいます。米州での受注好調に加え、欧州における景気刺激策、投資の税制優遇・補助金制度の本格化により下半期の受注増を予測しております。

年度業績については、期初計画通り売上収益を5,100億円（前年度比5.7％減）、営業利益380億円（同13.1％減）、親会社の所有者に帰属する当期利益200億円（同2.6倍）と

予想しています。受注が回復基調に入り、受注残も豊富に抱えていることから機械の売上収益は計画通りに達成できる見込みです。受注残高に占める中型機・大型機の比率が増加しており、2025年度の第4四半期にその売上が集中すると考えております。スเปアパーツ、MRO（メンテナンス・リペア・オーバーホール）、エンジニアリング事業及びグループ会社の売上も計画通りに推移するとみられます。第3四半期以降も、MXによる値引き率の低減で粗利益改善を継続し、生産数量・売上収益増加による収益性の改善を図ります。

また、年間配当は1株当たり105円（前年度100円）で計画

しております。

当社は工程集約・自動化・DX・GXといった付加価値の高いソリューションを提供し、お客様の生産性を向上させることで環境負荷低減と持続可能な社会に貢献するMXを推進しております。MX推進をさらに加速させ、サステナブルな社会へ貢献すると同時に、お客様とともに持続的成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

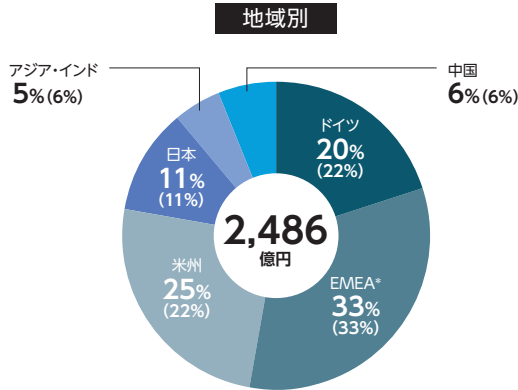
2025年度上半期決算説明会のオンデマンド配信をこちらからご覧いただけます。

https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/ir_library/video/

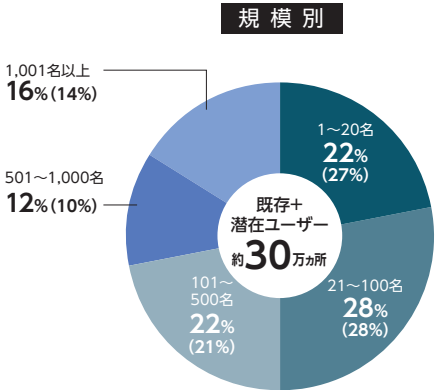
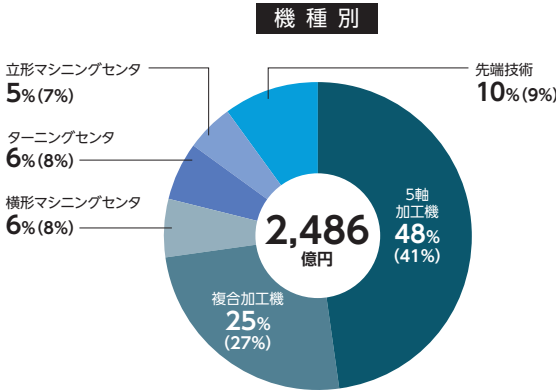
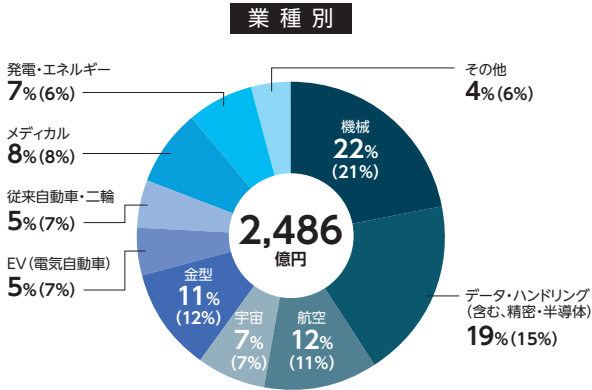
連結受注構成 2025年度 中間期(1～6月)

※金額ベース

(カッコ内：2024年1～12月)



* Europe excl. Germany, the Middle East and Africa



■ 財務情報 (要旨)

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

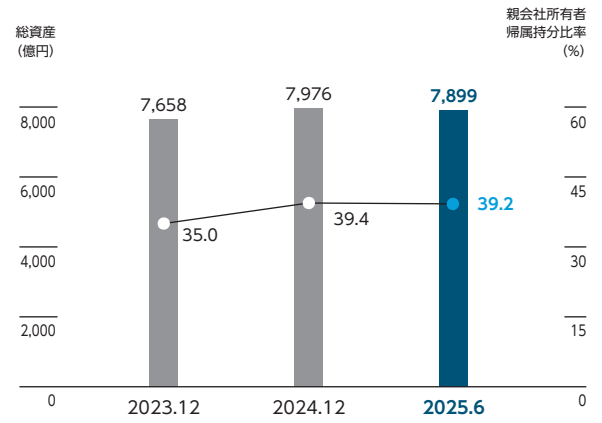
科 目	前 期	当中間期
	2024年 12月31日現在	2025年 6月30日現在
流動資産	317,711	305,594
非流動資産	479,855	484,288
有形固定資産	212,710	212,728
のれん	89,951	92,246
その他の無形資産	110,585	113,039
その他	66,609	66,275
資産合計	797,567	789,883
流動負債	399,420	399,435
非流動負債	81,667	79,003
資本合計	316,480	311,444
負債及び資本合計	797,567	789,883

連結損益計算書 (中間期)

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日	自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日
収益合計	273,101	231,611
売上収益	263,717	227,487
その他の収益	9,384	4,123
費用合計	248,978	225,101
商品及び製品・仕掛品の増減	△ 3,947	1,989
原材料費及び消耗品費	106,904	78,710
人件費	89,465	88,328
減価償却費及び償却費	15,183	16,474
その他の費用	41,371	39,598
営業利益	24,123	6,509
税引前中間利益	21,441	3,268
継続事業からの中間利益	15,282	2,126
非継続事業からの中間損失	△ 15,128	—
中間利益 (△損失)	153	2,126
親会社の所有者	△ 23	2,060
非支配持分	177	65

総資産／親会社所有者帰属持分比率



連結キャッシュ・フロー計算書 (中間期)

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日	自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	1,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,951	△ 11,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,475	△ 3,277
現金及び 現金同等物に係る換算差額	2,741	△ 705
現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 10,692	△ 13,733
現金及び 現金同等物の期首残高	39,212	41,747
現金及び 現金同等物の中間期末残高	28,519	28,014

■ ポイント解説

詳しい解説は「IR資料 決算報告 決算説明資料・決算リリース」よりご覧いただけます。

DMG森精機 株主・投資家

検索

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/>



Q 利益増減要因は？

A 2025年度上半期の営業利益は、前年同期241億円から73.0%減の65億円となりました。

売上減で157億円、為替で40億円、償却費増他で16億円、DMG MORI Precision Boring株式会社の負ののれん発生益がなくなったことで17億円、併せて230億円のマイナス要因となりました。

一方で、値引き率の低減及び製造部門の生産性向上による粗利益の改善で42億円、販売管理費用の削減で12億円、併せて54億円のプラス要因となりました。

下半期も粗利益改善が継続することに加え、生産数量・売上増により、収益の改善を見込んでいます。

Q フリーキャッシュフローの見込みと設備投資は？

A 2025年度上半期のフリーキャッシュフローは98億円の赤字となりましたが、第1四半期の89億円の赤字から、第2四半期には9億円の赤字と、運転資本の改善が寄与し、赤字幅を大きく改善することができました。

また、2025年度以降、設備投資額は償却費の範囲内に収める計画であり、設備投資額は118億円と償却費165億円以内に抑制しました。

下半期は設備投資の抑制、収益性の改善、受注増による前受金の増加により、通期ではフリーキャッシュフロー100億円の黒字を計画しています。

デジタルツインショールームのご案内

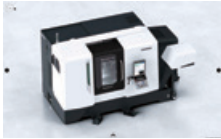
当社Webサイトに公開のデジタルツインショールームでは、伊賀、奈良、ドイツ・フロンテン工場内の展示機をフルCG製作で再現しています。機械の周囲を確認できる360°VIEW機能や機内VIEWなど、デジタル空間でしかできない体験を提供しています。製品情報やカタログ、関連動画にも直接つながります。

2024年に開催されたAMB 2024(ドイツ)やJIMTOF 2024(日本)といった大型展示会で初公開されたNLX 2500 | 700 2nd Generationをはじめとする最新機種を掲載し、世界中のお客様へご紹介しました。

24時間365日、いつでもどこからでも当社の機械を見学いただけます。ぜひご体感ください。



デジタルツインショールーム



360°VIEW



機内VIEW



伊賀・奈良・フロンテン工場

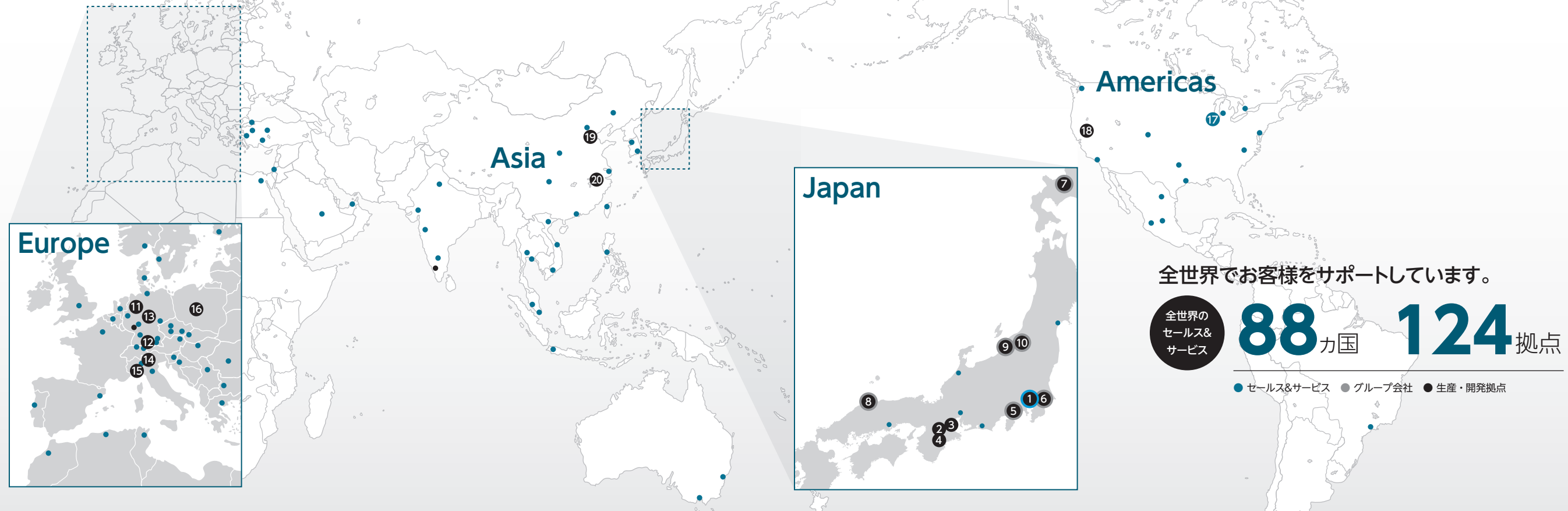


AMB 2024



JIMTOF 2024

■ グローバルネットワーク



全世界でお客様をサポートしています。

全世界の
セールス&
サービス

88カ国 **124**拠点

● セールス&サービス ● グループ会社 ● 生産・開発拠点

日本



ドイツ・イタリア・ポーランド・アメリカ・中国



※主要開発・生産拠点、ほか数カ所

■ トピックス

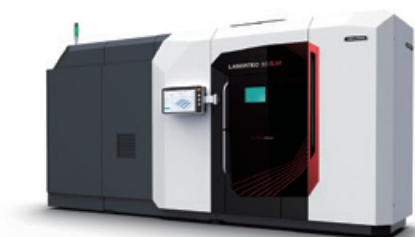
奈良事業所 世界最大級の システムソリューション工場へ

2025年4月、かねてより改装工事を行っていた奈良事業所の稼働を開始しました。自動化需要の高まりにより、自動化システム構築エリアを従来比4倍の約20,000㎡へ拡張し、業界で世界最大級のシステムソリューション工場として生まれ変わりました。多種多様な生産形態に対応し、お客様ごとに最適化された高品質な自動化システムを、設計から組み立て、出荷前検証までワンストップで提供しています。出荷前に精度や動作を確認いただくため、お客様工場での立ち上げ期間を大幅に短縮できます。また、工場屋根には大規模な太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用したサステナブルな生産を実現しています。奈良事業所はDMG MORIの自動化システム生産の中核として、今後も世界中のお客様の生産性向上に貢献してまいります。



AMイノベーションセンタ開所

2025年4月、第二本社である奈良商品開発センタの1階に、当社最新のAdditive Manufacturing (AM) 機を設置し、新たに「AMイノベーションセンタ」を開所しました。当施設では、DED方式とSLM方式のAM機を5台設置し、積層造形の前後工程に必要な周辺機器も完備しており、最適設計から積層条件の提案、造形、検証までを一貫して行い、お客様の多様なニーズにお応えします。ショールーム機能に加えて、お客様の製品開発から生産準備、検証までの一連のプロセスを体感できる実践的な場としても活用いただけます。さらに、AMの基礎から応用までを学ぶことができる動画・コンテンツや、実用例として30種類以上のワークを展示しています。グローバルのAM技術開発の中心拠点として、お客様の生産性向上とビジネス拡大を支援してまいります。



LASERTEC 30 *SLM*
3rd Generationの
紹介動画



my **DMG MORI**
eMarket



オンラインショップ
my DMG MORI eMarket
紹介動画



オンラインショップ 「my DMG MORI eMarket」

当社お客様専用のポータルサイトmy DMG MORIでは機械のライフサイクル全体でお客様のマシニング・トランスフォーメーション(MX)の推進をサポートしており、新機能として、オンラインショップ「my DMG MORI eMarket」の提供を開始しました。切削工具や治具など生産現場で定期的に追加購入が必要となる商品を簡単に購入できるほか、保有機情報と連携し、機械別に周辺機器を一覧表示する機能も搭載しています。また、トラスコ中山株式会社が提供する「TRUSCO オレンジブック.Com」と連携しており、約600万点の豊富な品揃えで、最短翌日の納品が可能です。さらに、当社エンジニアが工具や加工プログラムに関する相談も受け付け、国内外のDMQP(DMG森精機認定周辺機器)パートナー製品と当社のノウハウを組み合わせた最適なソリューションを提供します。

長岡地区への投資

当社は、2027年に新潟県長岡市に新工場を開設する予定です。長岡にはグループ会社の株式会社太陽工機とDMG MORI Precision Boring株式会社が本社工場を構えており、今回の新工場は、同エリアでの連携をさらに強化し、グループ全体のシナジーを高める取り組みの一環です。既存拠点の統合により業務の重複を削減し、生産性の向上と業務効率化を図ります。また、新工場では約500名が勤務を予定しており、2030年には売上高300億円を目標としています。今後も、DMG MORIグループは持続的な成長と企業価値向上に向けて取り組んでまいります。



太陽工機
Webサイト



DMG MORI
Precision Boring
Webサイト



■ サステナビリティへの取り組み

当社はCO₂排出量削減や資源循環型の社会に向けた取り組みを行っています。

当社のサステナビリティへの取り組みについて、Webサイトに詳しくご紹介しています。
<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/>

気候変動への対応

CDP2024
気候変動分野で最高評価「Aリスト企業」に初認定



当社は、国際環境非営利団体CDPによる「CDP2024」において、気候変動分野での情報開示と取り組みが高く評価され、初めて最高評価「Aリスト企業」に認定されました。これは、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ目標」のもと、太陽光発電やCO₂フリー電力の導入、資源循環の推進など、環境負荷低減に向けた取り組みの成果によるものです。また、当社が推進するマシニング・トランスフォーメーション(MX)は、工程集約や自動化、DXにより、お客様の生産性向上とCO₂排出量削減に貢献しています。今後も当社は、技術革新と生産性向上を通じて、気候変動をはじめとするグローバル課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

伊賀・奈良事業所で太陽光発電が全量開始、CO₂排出量削減を加速

伊賀事業所及び奈良事業所において、自家消費型太陽光発電システムの設置を完了し、全量発電を開始しました。伊賀事業所では、約13,400kWの発電容量を持つ国内最大級のシステムを導入し、年間約14百万kWhを発電。電力需要の約30%を賄い、年間約6,000トンのCO₂排出量削減を実現しています。奈良事業所でも、年間約3百万kWhの発電により、約1,300トンのCO₂排出量削減が見込まれます。また、両事業所には蓄電池も設置しており、災害時には主要設備への電力供給を可能にするなど、事業継続性の強化にも貢献しています。今後は、2026年に開所予定のマグネスケール奈良事業所、2027年に開所予定の長岡新工場でも太陽光発電の導入を予定しており、グループ全体で再生可能エネルギーの活用を拡大してまいります。

当社は、環境負荷の低減と安定した事業運営の両立を目指し、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを加速してまいります。



全量発電を開始した伊賀事業所 太陽光発電パネル

伊賀事業所
太陽光発電パネル
設置動画

健康経営の推進

2年連続で「健康経営銘柄」に選定

当社は2025年3月、経済産業省と東京証券取引所による「健康経営銘柄2025」に、昨年に続き2年連続で選定されました。社員の健康を経営課題として捉え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。また、経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人2025(ホワイト500)」にも、3年連続で認定されました。

当社は、経営理念に掲げる「よく遊び、よく学び、よく働く」のもと、社員が心身ともに健康で、意欲的に働ける環境づくりを推進しています。今後も、組織的な健康増進施策を通じて、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場づくりに取り組んでまいります。



健康経営宣言
特設Webサイト

スポーツ・文化貢献

DMG MORI SAILING TEAM 2大会連続でVendée Globeを完走



当社が2018年に立ち上げたDMG MORI SAILING TEAMのスキッパー白石康次郎選手が、単独・無寄港・無補給の世界一周ヨットレース「Vendée Globe 2024(ヴァンデ・グローブ)」において、2大会連続の完走を果たしました。“海のエベレスト”とも言われ、約3か月にわたるこの過酷なレースでは、メインセールのトラブルもありましたが、2016年大会のアジア人初出場、2020年大会の初完走に続き、無事走破しました。本レースを走り抜いた「DMG MORI Global One(グローバル・ワン)号」を日本で見ることのできる「JAPAN TOUR 2025」を2025年7月から11月にかけて開催しています。チームは今後も、セーリング文化の普及と若手人材の育成に向けて活動してまいります。

Global One号の
紹介動画

DMG MORI
SAILING TEAM
公式Webサイト

会社の概要		2025年6月30日時点
会社名	DMG森精機株式会社	
資本金	71,804百万円	
設立	1948年10月	
グローバル本社	東京グローバルヘッドクォータ 〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL：03-6758-5900 (代)	
第二本社	奈良商品開発センタ 〒630-8122 奈良県奈良市三条本町2番1号	
主な事業内容	工作機械（マシニングセンタ、ターニングセンタ、5軸加工機、複合加工機、アディティブ・マニファクチャリング機及びその他の製品）、ソフトウェア（ユーザーインタフェース、テクノロジーサイクル、組込ソフトウェア等）、計測装置、修理復旧サポート、アプリケーション、エンジニアリングを包括したトータルソリューションの提供	
従業員	13,979名（連結）	
Webサイト	https://www.dmgmori.co.jp	

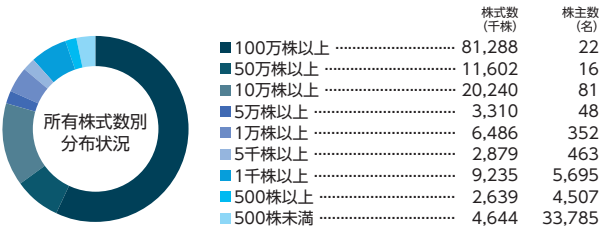
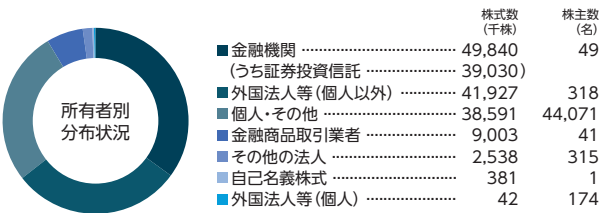
役員			2025年6月30日時点
取締役社長 森 雅彦	※	取締役 アルフレッド ガイスラー	取締役 光石 衛
取締役副社長 玉井 宏明	※	取締役 イレーネ バーダー	取締役 河合 江理子
取締役副社長 小林 弘武	※	取締役 御立 尚資	常勤監査役 柳原 正裕
取締役副社長 藤嶋 誠		取締役 中嶋 誠	監査役 川村 嘉則
取締役副社長 ジェームス ヌド		取締役 渡邊 弘子	監査役 岩瀬 隆広

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。
2. 取締役の御立尚資、中嶋誠、渡邊弘子、光石衛、河合江理子の5名は、社外取締役です。
3. 監査役の川村嘉則、岩瀬隆広の2名は、社外監査役です。

株式の状況		2025年6月30日時点
発行可能株式総数	300,000,000株	
発行済株式の総数	141,944,726株（自己株式381,208株を除く）	
単元株式数	100株	
中間期末株主数	44,969名	

大株主		2025年6月30日時点	
株主名		持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)		17,980	12.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		17,911	12.62
DMG森精機従業員持株会		4,989	3.51
森 雅彦		3,878	2.73
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)		3,816	2.69
野村信託銀行株式会社(投信口)		3,737	2.63
森記念製造技術研究財団口/ 株式会社日本カストディ銀行		3,500	2.47
JPモルガン証券株式会社		3,319	2.34
SMBC日興証券株式会社		2,359	1.66
日本証券金融株式会社		2,142	1.51

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。
 - 払渡しの期間経過後の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお支払いいたします。

TVCM、ミニ番組のご案内

TVCM「DMG MORI × Front Runner」

先進的かつ独自の取り組みをしておられるお客様を、業界注目のフロントランナーとしてご紹介しております。日々進化する生産現場の取り組みを、ぜひご確認ください。

放送

BSテレビ東京 毎月第1・2日曜 23:25頃(「ガイアの夜明け」終了後)



TVCM
Front Runner
シリーズ



※番組編成が行われる場合は、放送時間の変更の可能性がございます。

ミニ番組「港時間」

世界の港にスポットを当て、世界各国の綺麗な港まちや風景を伝え、それぞれの港の生活や、そこに根付く文化、人々とヨットとの関わりについても紹介しています。

放送

関東エリア テレビ朝日 毎週土曜 22:54～23:00
関西エリア ABCテレビ 毎週金曜 23:10～23:17
中部エリア メ〜テレ 毎週日曜 17:25～17:30



テレビ朝日
番組サイト



※番組編成が行われる場合は、放送時間の変更の可能性がございます。

株主優待のご案内

反田恭平／ジャパン・ナショナル・オーケストラ(JNO) コンサートご招待



株主の皆様の日頃のご支援に対する感謝の意を込めて、2025年12月末時点で、当社株式500株以上を1年間以上継続して保有する株主様を対象として、2026年に開催予定のJNOのコンサートにご招待いたします(チケット1枚もしくは2枚のいずれかご希望の枚数)。ご参加が難しい方には、CDを贈呈いたします。申し込みの詳細は、2026年3月に送付予定の第78回定時株主総会招集ご通知にてご案内いたします。



ジャパン・ナショナル・オーケストラ(JNO)

第18回ショパン国際ピアノコンクールで2位を受賞した反田恭平氏が率いる、若手ソリスト27名によるオーケストラ。2021年5月にジャパン・ナショナル・オーケストラ株式会社を設立し、当社創業の地・奈良を拠点にグローバルに活動を行う、若手精鋭アーティスト集団。

JNO
公式サイト



反田氏
メッセージ
動画



Webサイトのご案内

Webサイトにて当社の企業情報を随時公開しています。

コーポレートページでは、ニュースリリースに加えて、DMG MORIの技術やサステナビリティへの取り組みなどもご覧いただけます。また、株主・投資家情報ページにて決算説明会動画をオンデマンド配信しています。

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/>



コーポレートページ



株主・投資家情報ページ

DMG MORIは、
右記のSNSで
情報発信しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

